

## 陳情に対する各会派の意見表明

### [自由民主党]

陳情第 180 号子供と職員の人権を守るための予算を大幅に増やし、国・自治体の責任で安全・安心な保育の実現を求める陳情については、予算第 1 号議案を承認することから不採択とします。

陳情第 183 号 健康ライフプラザスポーツジムの存続を求める陳情については、予算第 1 号議案を承認することから不採択とします。

### [日本維新の会]

日本維新の会神戸市会議員団は、  
陳情第 180 号について「一部採択」とする。

1、については、本市では近年、人材の確保および定着促進に向けた施策を推進してきたが、十分な状況に至っているとは言えない。とりわけ処遇面については、さらなる改善の余地があると認識している。今後も人材の安定的な確保と質の向上を図るため、国に対し一層の処遇改善および配置基準の見直しが進められるよう、引き続き要望していただきたい。「採択」とする。

2、については神戸市独自予算ではなく、国の責任において実施するべきと考えることから「打ち切り」とする。

3、については全ての施設に有資格者の配置が確保されていること、有資格者の確保や施設運営ができるよう国の給付金や加算制度など利用できるメニューがあること、また国の制度により「こども誰でも通園制度」の受け入れ基本分単価が上がることから「打ち切り」とする。

4、については「放課後児童支援員等処遇改善等事業」についての利用判断は、各施設の判断によるが、事務負担が重い、制度が複雑などの理由により活用していない施設に関しては丁寧な説明を行っていただきたいので「打ち切り」とする。

陳情第 183 号については「不採択」とする。

近隣地域には複数のスポーツジムが存在し、今回の撤退理由が採算性や利用状況に課題があること、さらには公の施設として廃止した経緯を踏まえると、市が支援を行い、ジムを継続することは適当ではない。また、現利用者への対応について、運営事業者が近隣施設での受け入れに向けた調整を進めており、事業者には引き続き丁寧な対応を行うよう求めているとの当局の説明を了とし、不採択とする。

### [公明党]

公明党神戸市会議員団は、陳情第 180 号「子供と職員の人権を守るための予算を大

幅を増やし、国・自治体の責任で安全・安心な保育の実現を求める陳情」については、すでに市としても処遇改善・職員の配置基準の改善には努めており、国に引き続き要望していくとの当局の説明を了とすること及び予算第1号議案を承認することから不採択といたします。

次に、陳情第183号「健康ライフプラザスポーツジムの存続を求める陳情」については、利用状況および採算性を理由として、2026年3月30日をもって撤退する予定であること、また、近隣には複数の民間ジムが存在し、当該施設は既に公の施設として廃止していることから、市として運営継続の支援は行わない方針であること、さらに、現在の利用者については事業者が近隣施設への受け入れ調整を進めていること及び予算第1号議案を承認することから不採択といたします。

## **【日本共産党】**

陳情第180号は、子どもと、保育、学童保育に携わる職員の人権を守るための予算を大幅に増やし、国と自治体の責任で安全・安心な保育の実現を求めるものです。

保育・学童保育で働く職員の賃金は全産業平均より、月7～8万円も下回り、深刻な人手不足で休暇や休憩がとりにくい状態です。現場の職員が健康で文化的な生活を維持し、働き続けられるように処遇の改善を早急に行うことは国と自治体の責務です。採択を求めます。

陳情第183号は、兵庫駅南側にある健康ライフプラザのスポーツジムを4月以降も存続できるよう、神戸市の支援を求めるものです。

若い方から高齢者まで幅広い年齢層の市民が、フレイル予防、介護予防のために健康を維持したいと、当施設のスポーツジムを利用しています。神戸市は存続の強い要望に応え、支援を継続するべきです。採択を求めます。

## **【こうべ未来】**

陳情第180号につきましては、国への要望を求める項目については、既に神戸市はこれまでも繰り返し国へ要望していること、神戸市へ求める項目についても、国へ要望するとともに、市としては国の事業を活用し充実に努めているところです。我が会派もこの方向性を了とし予算を承認しており、不採択を主張いたします。

陳情第183号につきましては、過去の経緯や採算性、利用状況の課題、そして現在、運営事業者が近隣施設での受け入れに向けた調整を行っていることを踏まえると、神戸市が支援しジムを継続することが望ましいとは言えず、本陳情についても予算を承認し、不採択を主張します。

## **【新しい自民党】**

陳情第180号及び第183号については、予算第1号議案を承認することから不採択

とする。

## **【躍動の会】**

陳情第 180 号について、不採択とする。

陳情項目 (1) については、市が取りまとめた「令和 8 年度国家予算に対する提案・要望」において、重点項目として「保育士配置基準の改善」と記載されていた。国に対する要望はすでに行なわれており、要求は満たされたものと判断する。

陳情項目 (2) (3) について、「神戸市独自の予算」なるものをつける必要はないと判断し、すでに予算案を承認している。

陳情項目 (4) について「助成項目として挙げる」が意味するところは分からないが、市は、国の、放課後児童支援員等処遇改善等事業を活用しており、すでに要求は満たされていると判断する。

以上により、陳情第 180 号を不採択とする。

陳情第 183 号について、不採択とする。

健康ライフプラザフィットネスジムは株式会社 COSPA ウェルネスが運営する施設である。民間事業の経営判断に市が介入すべきでなく、支援する根拠がない。よって不採択とする。

## **【つなぐ】**

陳情第 180 号子供と職員の人権を守るための予算を大幅に増やし、国・自治体の責任で安全・安心な保育の実現を求める陳情については、保育環境の充実が少子化対策にもつながるとの視点で採択です。

陳情第 183 号健康ライフプラザスポーツジムの存続を求める陳情については、民間スポーツクラブの料金が高騰する中、高齢者の憩いの場を奪うべきでないとの立場で採択です。

## **【平野（章）委員】**

陳情第 180 号、第 183 号は、不採択とします。

## **【上原委員】**

陳情第 180 号子供と職員の人権を守るための予算を大幅に増やし、国・自治体の責任で安全・安心な保育の実現を求める陳情について、本市としても既に国に対して要望していることや、それ以外の事項に関しても予算を承認することから、「不採択」とします。

陳情第 183 号健康ライフプラザスポーツジムの存続を求める陳情について、民間

事業者が運営する施設に対する支援に市税を投入することは、受益者がごく限定されることの不公平性から相応しくないと判断するため「不採択」です。

### **【なんの委員】**

陳情第 180 号「子供と職員の人権を守るための予算を大幅に増やし、国・自治体の責任で安全・安心な保育の実現を求める陳情」については、予算第 1 号議案を承認することから不採択とします。

陳情第 183 号「健康ライフプラザスポーツジムの存続を求める陳情」については、予算第 1 号議案を承認することから不採択とします。